

10 小中学校における学校評価のシステム化の支援

施策の概要

外部評価を積極的に取り入れ、その結果を公表するなど、学校経営の向上をめざします。

平成 20 年度の取組

学校評価ガイドラインに基づく自己評価・学校関係者評価や情報提供に係る実践研究を実施し、地域の実情を踏まえた特色ある取組の研究・普及を図る。

推進地域：県内 4 地域

（平成 19 年 12 月 26 日に「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」が施行されたことに伴い、自己評価の実施と公表、設置者への報告が義務化され、学校関係者評価の実施が努力目標化された。）

(1) 取組の成果

県内に 4 地域（豊田市・豊明市・武豊町・一色町）を指定し、学校評価ガイドラインに基づく自己評価・学校関係者評価や、情報提供にかかわる実践研究を実施し、地域の実状を踏まえた特色ある取組を行った。また、年度末には、その成果を研究報告書にまとめ、県内の小中学校・市町村教育委員会に配付し、普及を図った。

(2) 今後の課題・方向性

学校評価については、保護者や地域の人々に、よりわかりやすく伝えられるように公表の方法を工夫する必要がある。また、食育や人権教育、特別支援教育等、学校評価の指標となる新たな視点が学校に求められており、学校の重点努力目標や学校評価の項目として明らかにしていくことも重要である。

11 県立学校における学校評議員制度の拡充・定着の支援

施策の概要

開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを進めるため、学校評議員等による学校関係者評価を積極的に取り入れ、その結果を公表するなど、学校経営の向上を目指します。

（高等学校では平成 12 年度から、特別支援学校では平成 16 年度から学校評議員制度を開始）

平成 20 年度の取組

県立高校 106 校（503 人）、県立特別支援学校 17 校（83 人）に設置

(1) 取組の成果

学校における教育活動全般にわたって、有益な意見の聴取ができた。例えば高校では治安や放置自転車の撤去情報を受け、指導につなげた例があった。

また、特別支援学校においては、教育活動や特別支援教育のセンター的役割の充実など、具体的な内容についての検討を進めることができた。

(2) 今後の課題・方向性

県立学校管理規則を改正し、平成 22 年度から学校評議員を全校設置する。この学校評議員全校設置に向け、既設置校での効果的な活用方法等を周知することにより、新規に設置する学校を指導し、全校に対し学校関係者評価における学校評議員等の組織の活用を促していく必要がある。

また、学校や地域の実情に応じて、学校運営に関する保護者や地域住民の意向を把握・反映しながらその協力を得るとともに、学校としての説明責任を果たしていくことができるよう指導していくことも必要である。

教職員の適正配置と資質能力の向上

少人数学級を小学校第 2 学年に拡充しました。

教職員の採用・人事・研修について工夫し、優秀な人材の確保や適所への配置、研修の充実を行いました。また、指導力向上を要する教員に対して指導改善研修を実施しました。

12 少人数教育対応教員の配置

施策の概要

小学校第 1 学年で実施している 35 人学級を、第 2 学年や中学校第 1 学年に拡充するなど、少人数教育を充実します。

平成 20 年度の取組

小学校第 1 学年に加え、小学校第 2 学年でも少人数（35 人編制）学級を実施

小学校第 1 学年 266 学級増

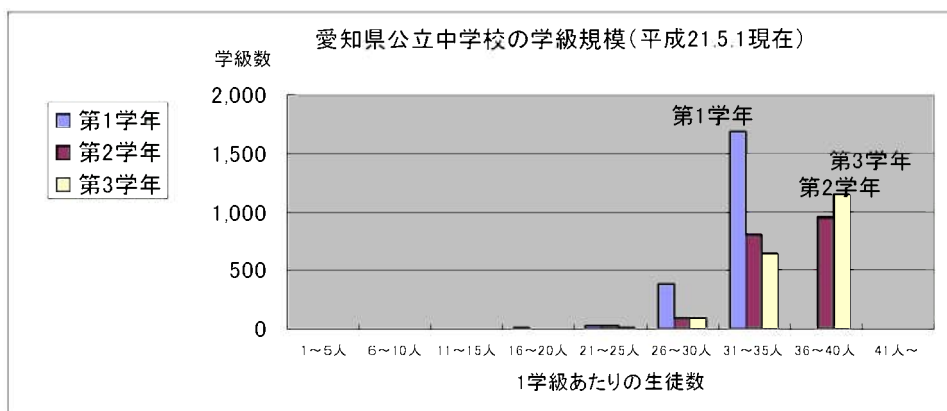
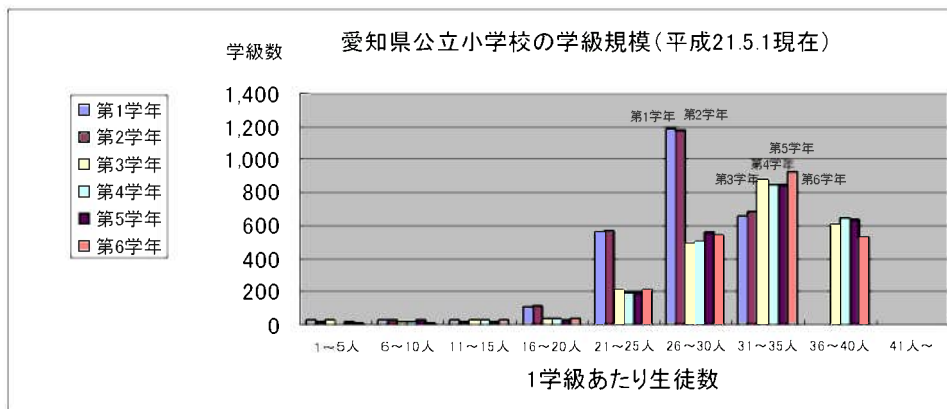
小学校第 2 学年 268 学級増

(1) 取組の成果

小学校第 1 学年への少人数学級導入により、学習面・生活面において教師が一人一人の児童にかかわる機会が増え、これまでよりも行き届いた、きめ細かな指導を行うことが可能となった。このことで、幼稚園や保育所などの小学校就学前教育から、大きく環境が変わる小学校入学時において、円滑な接続を実現することができた。また、第 2 学年においても少人数学級の導入により、学習習慣や生活習慣の確かな定着を進めることができた。

(2) 今後の課題・方向性

学級担任制から教科担任制となり、学習環境の大きな変化により学習のつまづきが起き易いことに対応するため、中学校第1学年へ少人数学級を導入し、きめ細かな指導ができるようにしていく。今後とも、複数の教員による少人数指導等も含め、少人数教育の水準を維持する必要がある。



13 教職経験者や社会経験の豊かな者などに対する特別選考の拡大

施策の概要

教員としてふさわしい資質能力を備えた優れた人材を採用します。

平成20年度の実施

社会人特別選考、外国語が堪能な者を対象とした選考を実施。また、これまでの特別選考に加え、元教諭、講師を対象とした選考を実施

(1) 取組の成果

平成20年度実施の教員採用試験の結果、社会人特別選考で18人、外国語が堪能な者を対象とした選考で10人の合格者を確保した。また元教諭・講師経験者を対象とした特別選考では178人の合格者を確保するなど、教職経験者や社会経験の豊かな人材を発掘することができた。

(2) 今後の課題・方向性

一芸に秀でた優れた人材や、英語におけるコミュニケーション能力のある人材、医療現場での経験や知識・技能を有する人材など社会経験の豊富な人材を学校に配置できるよう引き続き優れた人材を採用していく。

14 学校の組織運営に関する調査研究

施策の概要

学校が保護者や地域住民の信頼を得ながら、自主的・自律的に特色ある教育活動を行うことができるよう、学校の組織運営等に関する実践的な調査研究を行います。

平成 20 年度の取組

- ・主幹教諭を配置（小中学校 50 人）
- ・引き続き新たな職（副校長及び指導教諭）の設置について審議
- ・愛知県教育委員会教員表彰の実施（100 人）

(1) 取組の成果

主幹教諭の配置により、円滑かつ有効な教職員の人材育成や教育課題の解決を図ることができた。

また、優れた教育活動に取り組む教員を表彰することにより、県内公立学校教員の意欲を高め、資質能力の向上を図ることができた。

(2) 今後の課題・方向性

今後も事業を継続し、教員の意欲高揚と学校の活性化を図っていく必要がある。主幹教諭については、今後も小中学校に配置をしていく。主幹教諭以外の「新たな職」についてもその必要性についても実務的な研究を進めていく必要がある。

15 県立学校教員人事異動公募制度

施策の概要

特色ある学校づくりをめざす県立学校を対象として教員の公募制を導入します。

平成 20 年度の取組

- ・公募実施学校（12 校）：犬山、岩倉総合、杏和、海翔、常滑、知多翔洋、阿久比、豊田東、岡崎東、高浜、蒲郡、宝陵
- ・公募制度の応募状況：8 人（7 校：犬山、岩倉総合、杏和、常滑、知多翔洋、豊田東、岡崎東）

(1) 取組の成果

総合学科、普通科コース（情報活用コース、国際コミュニケーションコース、福祉実践コース、自然探求コース等）、総合選択制設置校における特色ある学校作りなどの取組に必要な人材を確保し、学校の活性化を図ることができた。

(2) 今後の課題・方向性

今後も継続して実施し、特色ある学校づくり等を目指し、事業の継続を行う必要がある。

16 教職員研修の充実

施策の概要

教職員研修を一層充実するため、現在実施している研修事業を体系的に見直すとともに、子どもと向き合う時間を確保するため、eラーニング*の活用など、より効果的な研修方法を検討していきます。

平成 20 年度の取組

引き続き、研修事業改善委員会を中心に研修事業の見直し・改善を推進するとともに、教職員対象の 14 研修・講座で eラーニング研修を実施する。

*eラーニング研修：

インターネットをとおして配信された研修教材を、個々の教員がコンピュータを利用して学習する。受講者は、自己の都合に合わせて視聴し、指定された期間内であれば、疑問点を解消するために反復して学習することができる。

(1) 取組の成果

平成 20 年度は、eラーニング研修実施初年度であったが、14 の研修・講座で 12 本の教材を使用し、受講者数は 2,682 人（延べ人数 3,593 人）であった。

一部または全部を eラーニングに切り替えた研修における評価としては、学校にいながら、しかも手のすいた時間に研修でき、子どもと向き合う時間が確保できたという声が多く見受けられた。

(2) 今後の課題・方向性

eラーニング研修において、操作不慣れなことで起こるトラブルへの早期をするための「ヘルプデスク」の設置が必要である。

また、教員の資質向上は重要な課題であることから、今後学校現場の負担軽減も考慮しながら、効果的な研修事業の見直し等を行っていく必要がある。

17 大学との連携による教職員研修の実施

施策の概要

教職員研修を一層充実するため、現在実施している研修事業を体系的に見直すとともに、子どもと向き合う時間が減少している中、e ラーニングの活用など、より効果的な研修方法を検討していきます。

平成 20 年度の取組

「教員研修に係る大学と教育委員会との連携委員会」で、次の4項目について研究・協議を推進

- ① 研修プログラムの共同開発
- ② ライフステージに応じた研修の体系化と支援
- ③ 教員免許更新制への対応
- ④ 養成・採用・研修・評価等の一体化

委員構成：大学関係者6人・教育委員会関係者6人・学校関係者3人

開催状況：全体会（5月、3月）

ワーキンググループによる検討会（7月、10月、12月）

(1) 取組の成果

教員研修の現状と課題について、大学と教育委員会が共通理解を図り、教員の資質向上に向けた具体的な取組を協議することができた。

また、大学側の理解を得て、連携による研修の講師人材バンクを作成し、10年経験者研修や専門講座において講師の活用が図られた。

(2) 今後の課題・方向性

教員のライフステージに応じた研修事業の体系化を図るとともに、研修評価の在り方について検討していく必要がある。

18 教職員評価の改善・充実（20年度終了）

施策の概要

学校の組織運営に関する調査研究会議及び教職員評価制度調査研究専門部会を開催し検討

平成 20 年度の取組

- ・学校の組織運営に関する調査研究会議
3回開催（教職員評価制度について、「新たな職」について など）
- ・教職員評価制度調査研究専門部会
3回開催（教職員評価制度に関するアンケートについて など）

(1) 取組の成果

教職員評価制度実施上の問題点や課題等（制度の位置づけ、評価方法、評

備シートの内容、給与・処遇への反映及び規則改正による勤務評定との一本化等)について検討を重ね、平成18年度からの試行的な実施をとおして、必要な整備改善を図ることができた。

(2) 今後の課題・方向性

本格実施にむけた実務的な協議を関係機関と行うとともに、教職員に対する周知の徹底を図っていく必要がある。

19 指導力向上を要する教員の的確な把握と研修の実施

施策の概要

指導力向上を要する教員への対応を図ります。

平成20年度の取組

教職員の資質向上のため、指導力向上を要する教員を的確に把握し、学校内において指導・研修を実施するなど教員の実態に応じた適切な支援を行う。

(1) 取組の成果

指導改善研修は、週5日間のうちの4日を総合教育センター、1日を所属校で行う組合せを基本とするAコースと、週1日を総合教育センター、4日を所属校で行う組合せを基本とするBコースの2コースがある。

主な研修の内容としては、教科指導や生徒理解といったことを中心として、他職種の職場体験を取り入れるなど、それぞれの実態に応じた研修を実施している。研修の結果、5人のうち2人が21年度から職場へ復帰した。

(2) 今後の課題・方向性

指導が不適切な教員として認定された要因や改善状況が様々であり、今後も引き続き柔軟な個別プログラムの設定と運用が必要である。

教育施設・環境の整備

安全安心な学校施設の確保の観点から、耐震化及び老朽化への対応を行いました。

また、魅力ある学校づくりを進めるため、総合学科の設置等により県立高等学校の再編整備を行いました。

20 県立学校施設の整備

施策の概要

耐震性確保や老朽化に対応した改修を進めます。

平成 20 年度の取組

耐震 B ランク建物の耐震改修工事（33 棟）・先行設計（60 棟）
耐震 A ランク建物の老朽改修工事（3 校）・先行設計（7 校）

大規模な地震に対する安全性

ランク	構造耐震指標 (Is 値)	大規模な地震に対する安全性
A	0.7 以上	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
B	0.3 以上 0.7 未満	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
C	0.3 未満	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

※C ランクの建物については、平成 18 年度までに耐震改修完了

(1) 取組の成果

年次計画*に基づき対象建物について耐震性能の向上を図ることができた。
(耐震化率 平成 20 年 4 月 1 日時点 64.4%→平成 21 年 4 月 1 日時点 66.9%)

*年次計画:

第 2 次あいち地震対策アクションプラン及び愛知県建築物耐震改修促進計画により、平成 27 年度完了を目標としている。

(2) 今後の課題・方向性

県立学校施設の安心安全の確保のため、耐震 B ランク建物を重点的かつ計画的に耐震化を図っていく必要がある。

21 県立高等学校の再編整備

施策の概要

県立高等学校再編整備実施計画（第 2 期）を策定・実施し、総合学科及び普通科コース*の設置等により、魅力と活力ある学校づくりを進めます。

平成 20 年度の取組

総合学科：岡崎東高校

普通科コース制：刈谷北高校（国際理解コース）、岡崎北高校（コスモサイエンスコース）

総合選択制*：新城高校（鳳来寺高校と新城高校の統合校、平成 21 年度の統合に向けての準備。農業・商業・家庭の 3 学科）

*総合学科及び普通科コースについては P.27 参照

*総合選択制：

複数の学科やコースを設置する学校において、学科やコースの枠を超え、自分の興味・関心や進路希望に応じて、他の学科やコースの科目を選択し、学習することができる。